NEWS RELEASE　取材のお願い

東京経済大学

2026 年 11 月 10 日

日用品を持ち歩くストレスをゼロに
ハンドクリームなどのシェアリングサービス 実証実験スタート！
～起業家養成プログラムに所属する学生らが発案～

東京経済大学（東京都国分寺市／学長：小川英治）経営学部に所属し、起業家の養成をめざす専門プログラムで学ぶ学生が、ハンドクリームや日焼け止め、制汗剤などの日用品をシェアする新サービス「ココカル」を考案。2026 年 11 月 16 日（月）から 19 日（木）までの 4 日間、学内で無料の実証実験を実施します。将来的にはサブスクリプション（月額定額制）モデルへの移行をめざします。

「ココカル」とは、日用品が入った箱を所定の場所に設置し、使いたい人が、使いたいときに、使いたいものを使用して元の場所へ戻すという、新たなシェアリングサービスです。これは、起業家の養成をめざして2026年度から本学で始動した「アントレプレナーシップ養成プログラム」の受講生らが提案するサービスで、2 年生の 6 名が学生目線で日常的な課題を発見し、企画から実証実験の設計まで一貫して考案しました。



■ 日用品シェアサービス「ココカル」企画の背景

チームメンバーが学内で行ったアンケート調査（30～40 名対象）において、多くの学生が日用品に対して「使うか分からないが念のため持ち歩いており、カバンが重くなる」「使いたい時に限って忘れてしまう」という潜在的なストレスを抱えていることが判明しました。この課題を解決するため、メンバーは「個人で所有して持ち運ぶ」から「必要な場所でシェアして使う」スタイルへの転換を発案。『ここから、かるい生活』を実現するシェアリングサービス「ココカル」を考案しました。

■ 実証実験の概要

・実施期間： 2026 年 11 月 16 日（月）～ 11 月 19 日（木）
・実施場所： 東京経済大学 国分寺キャンパス内（学内 3 か所の建物入口付近）
・目　　的： 利用状況および利用者によるアンケート・評価の検証

■ 今後の展望と課題

実証実験の結果を検証し、将来的にはサブスクリプション（月額定額制）モデルへの移行や、メーカーからの物品提供、他施設への設置拡大をめざします。一方で、本格運用に向けては専用アプリの導入（会員登録・スマートキー機能等）や、資金調達のスキーム構築が課題となっています。

■ 「アントレプレナーシップ養成プログラム」について

本プログラムは、ビジネスアイデアの企画や商品・サービスの開発などを実践的に学ぶプログラムです。今年度は 2 年生 18 名が 3 グループに分かれ、専門家のサポートを受けながら、在学中の起業をめざして日々ビジネスモデルの構築に取り組んでいます。

※詳細 URL： https://www.tku.ac.jp/department/administration/entrepreneur.html